

大阪府立寝屋川支援学校

(様式4-2：平成29年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称：校外学習・電車学習					
2. テーマ：電車の乗り方を学習しよう、電車に乗って校外学習に出かけよう					
3. 実施教科：特別活動					
4. 関連単元：自立活動					
5. 実施単元数：第1学年 電車学習(1) 第2学年 電車学習(1) 第4学年 電車学習(1)					
6. 学年	1・2・4年	7. クラス数	14クラス	8. 生徒数	65名
<p>9. 実施内容</p> <p>本校は知的障害のある児童生徒が通う特別支援学校である。小学部では校外学習活動として、近隣を走る JR 線を使った電車学習に系統的に取り組んでいる。児童の中には、公共の交通機関を利用する経験が少ない児童も多く、友だちと一緒に電車に乗る経験が、公共交通機関を利活用して行くためのきっかけにもなっている。</p> <p>低学年では、公共交通機関を利用する経験をすること自体が大きな目的である。電車に乗る、改札に切符を通す、切符を落とさないように財布に入れ自分で管理する、などが段階を追った電車学習のねらいとなる。高学年になると、切符を券売機で購入する、マナーを守って乗車する、駅の名前を知り路線図を見とるなど、それぞれの児童の発達段階に応じて、自分で公共交通機関を利用することに繋がる学習へと課題が広がって行く。小学部最終学年である第6学年の修学旅行では、和歌山県の白浜方面に電車を使って移動する行程を、これまでの電車学習のまとめの活動として毎年取り入れている。今年度は、1学年、2学年、4学年が、各学年の児童の実態に合わせて課題を設定し、電車学習を行った。また電車を使って出かけ、レストランで食事をして帰校するなどの行程での校外学習に取り組んだ。</p> <p>(1) 第1学年 (児童24名) <実施内容></p> <p>①電車に乗るための事前学習 : 校内での授業</p> <p>②電車学習 : JR 星田駅から東寝屋川駅間の乗車体験学習</p> <p>③校外学習 : JR 星田駅から松井山手駅間の電車乗車(往復)及び、ファストフード店で軽食を食べる行程を含む校外学習</p>					

(2) 第2学年 (児童24名)

<実施内容>

- ①電車に乗るための事前学習：校内での授業
- ②電車学習：JR 星田駅から東寝屋川駅間の乗車体験学習、自動改札機に切符を通す体験学習
- ③電車に乗るための事前学習：校内での授業
- ④校外学習：JR 東寝屋川駅から住道駅間の電車乗車（往復）及び、レストランで昼食を食べる行程を含む校外学習

(3) 第4学年 (児童17名)

<実施内容>

- ①電車に乗るための事前学習：校内での授業
 - ②校外学習：JR 東寝屋川駅から松井山手駅間の電車乗車（片道）及び、京阪バス乗車、及びレストランで昼食を食べる行程を含む校外学習
- * 帰路はスクールバスを利用

10. 学習のながれ：

(1) 第1学年の電車学習

①初めての電車学習に行くことへのイメージを持つために、電車に乗る駅の名前、降りる駅の名前を写真や画像で見聞きして確かめた。また、電車に乗る時のマナーをイラストを見ながら確かめた。

電車の形を模した乗り物に乗り、実際の電車が走る様子が映った歌ビデオを鑑賞して、電車学習への気持ちを高めた。

②最寄りの駅2箇所間で電車に乗る学習をした。団体切符を利用して乗車した。電車に乗るのがほぼ初めてという児童も含まれており、乗車前には不安を隠せない児童もいたが、電車が発車すると窓からの景色に見入っている様子が見られた。一駅間の乗車だったため、「もっとのりたい」という声も聞かれた。

③校外学習時の電車学習は、乗車駅が前回と同じであったこともあり、初めての経験に不安が強い児童でも、少し不安が和らいだ様子であった。降車駅まで5駅の区間と長めの乗車だったこともあり、座席に座って窓の外をゆっくり眺めたり、駅の名前を確かめたりすることができた。

(2) 第2学年の電車学習

①第1年時に、電車に乗る学習を行っている本学年の児童は、今年度から、改札機に切符を通す、切符を財布に入れて管理する、という課題に取り組んだ。児童改札機を模したダンボール製の教材に切符を通し、個人の財布に入れる、という体験学習を行った。事前学習の2回目は保護者参観日もかねた。

②最寄りの駅2箇所間で電車に乗る学習をした。実際の自動改札機に一人ずつ切符を通して財布に保管しながら電車に乗った。

④東寝屋川駅では、児童一人ひとりが自動改札機に切符を通し、電車に乗車した。電車乗車の経験を重ねていること、学校の最寄り駅がなじみの駅になってきていることで、スムーズに電車に乗車することができた。運転席から線路が続く様子をくいいるように見たり、電車乗車の約束を教師と話したりしながら、落ち着いて電車に乗車することができた。

(3) 第4年の電車学習

①第4学年での電車学習は、券売機で切符を購入する、という課題に取り組んだ。事前学習では、券売機を模したダンボール製の教材で、お金を入れてボタンを押し、切符を購入する体験をした。該当する金額にあたる効果をあらかじめ持ち、「こども」→「金額」いう順序でボタンを押して、出てきた切符を取る、という切符購入の手順を体験の中で学習した。子どもたちは、一人ひとり、時間をかけて切符を購入する手順を確かめることができた。

②校外学習時の電車学習では、実際の駅の券売機で一人ずつ切符を購入した。切符の管理も引き続き自分で行い、スムーズに電車に乗ることができた。

<まとめ>

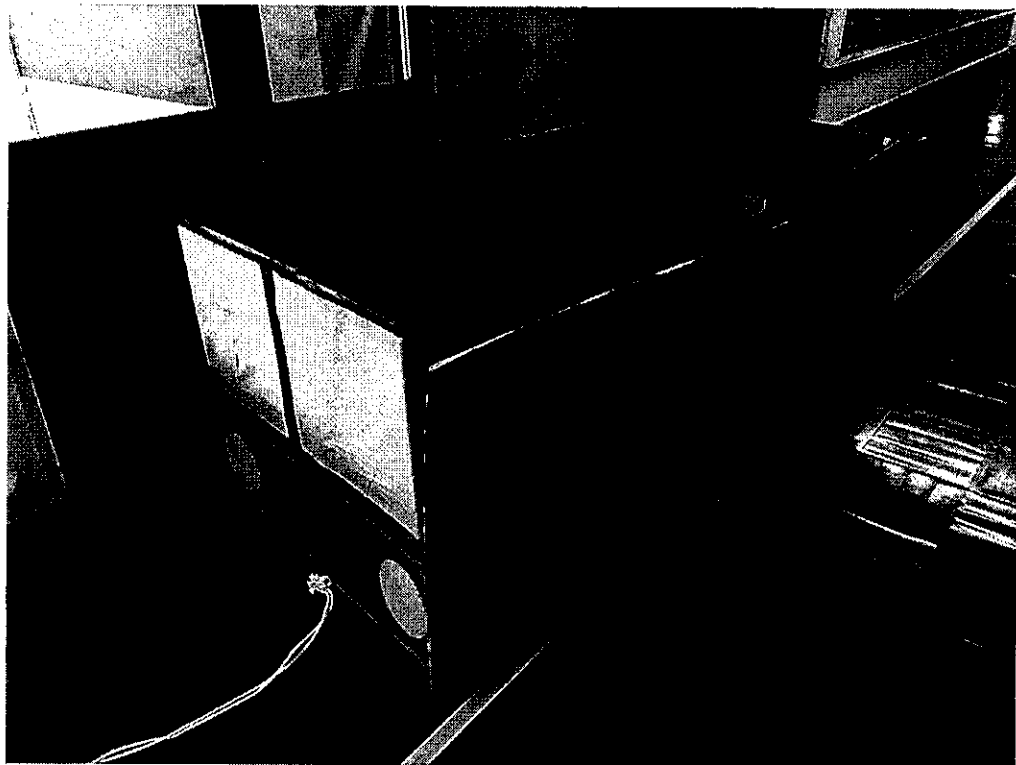
今年度は各学年の実態に合わせたねらいのもとで、「電車に乗るためのスキル」を身につけるための、事前学習を行うことができた。実際の電車学習では、児童一人ひとりが電車に乗るために事前に学習した知識や技能を使って、電車に乗ることができた。実際の電車に乗る体験は、地域社会の中で活動するという貴重な社会経験となっている。



1年生 電車学習



2年生 電車学習



1年生が事前学習で乗車した電車を模した乗り物